

# 地域を知り、強い絆で災害に備える

いつ起こるかわからない災害。「ヒトゴト」「ヒトマカセ」から「ジブンゴト」へ。

## 熊本地震の甚大な被害

平成28年(2016)4月14日(木)午後9時26分以降に発生した熊本県を中心とする一連の地震活動を気象庁は、熊本地震と命名しました。

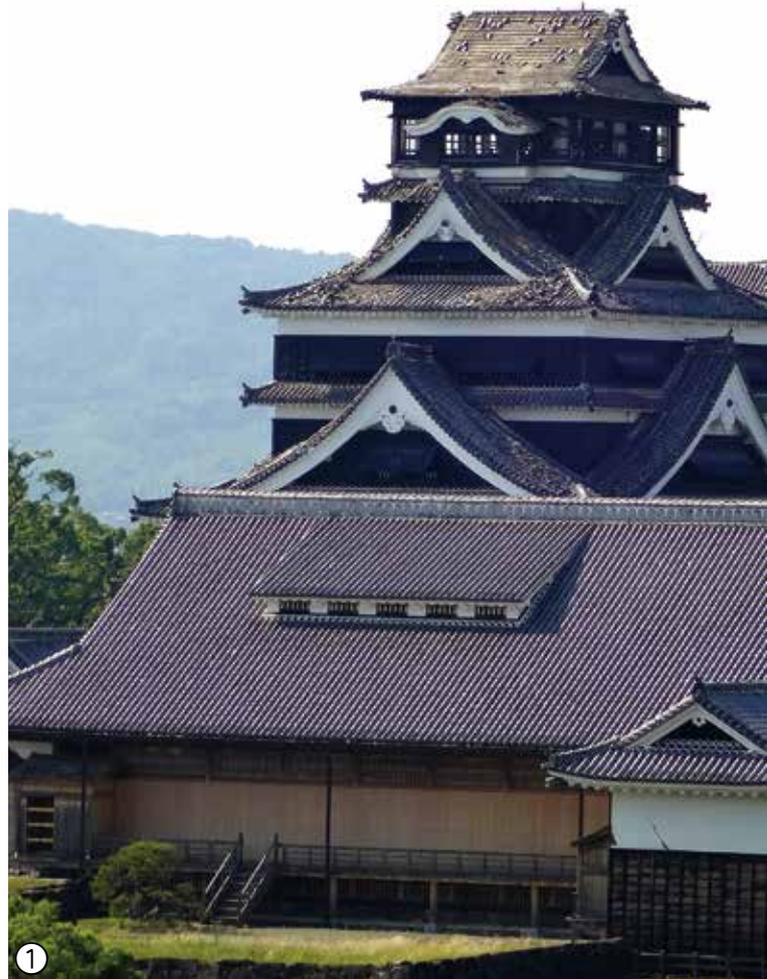
この地震では、深さ約10kmでマグニチュード7.3の地震が発生し、最大震度7を観測しました。その後も、最大震度5弱を超える余震が度重なり、被災者は不安な日々を過ごしました。現在も1,000人を超える人が避難所で生活を続けています。

熊本地震による災害が原因となった被災は死者90人、重軽傷者(分類未確定者含む)2,314人。また、住宅被害は一部損壊から全壊を含め、計164,751棟となっています(平成28年8月21日午後1時30分発表:熊本県災害対策本部)。

被災地支援のため、7月上旬までに三島市からも13人の職員を静岡県の実地支援本部がある熊本県嘉島町に派遣しました。

嘉島町は、最大震度6強の地震に見舞われ、死者3人、災害関連死1人、住家被害として一部損壊から全壊を併せて2,400棟を超える被害を受け、6月4日の時点で369人が避難生活を送り、現在も49人が指定避難場所で過ごしています。(平成28年熊本地震嘉島町災害対策本部対応状況8月23日報)。

※被害状況は現段階の速報値



## 熊本地震の教訓を生かすために

九州地方では、これまでに大きな地震がなかったことから、地震に対する備えの意識が薄かったと言われています。災害は、いつ起こるかわかりません。皆さんは十分な備えをしていますか。

今回の特集では、当市から派遣した職員の声を紹介し、実際の災害時に必要なことをお伝えします。

問合せ 危機管理課 (☎983-2650)

写真の説明 ①屋根瓦などが崩れた熊本城大天守②嘉島町民体育館(パーテーション設置前)③南阿蘇の山崩れ④棚の中の物が飛び出し、床に散乱⑤原型をとどめない倒壊した木造住宅(④⑤最大震度6強の嘉島町)

### 三島市長 豊岡武士

#### 熊本地震の教訓「備えあれば憂いなし」を実践

4月に発生した熊本地震でお亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。皆様からお預かりした350万円余りの義援金を送金しました。ご協力に感謝します。

地震を止めることはできませんが、震災をくい止めることはできるはずです。「命が一番」。平常時から、家屋の耐震補強や食糧備蓄、自主防災活動に参加するなど、助け合い災害に強い地域づくりを進めましょう。





## 自分の住む場所だけは大丈夫!?

昭和 51 年に東海地震説が発表されて以来、現在まで、必ず来ると言われ続けている東海地震。県内においては、大きな地震が起きていないことから、「しばらく来ないのではないか」と安心していませんか。しかし、災害時に決め手となるのは、日ごろからの備えです。まずは、自分の住む地域の被害想定を知ってください。

県では、東海地震を含む駿河トラフ・南海トラフ沿いの地震の連動発生も視野にいれ、平成 25 年に地震被害を一定の条件にあてはめた市町単位での被害想定を公表しました。

三島市の最大被害想定は右表のとおりです。

### 【三島市の地震・津波による最大の被害】

区分	駿河トラフ・南海トラフ	相模トラフ
地震動 (市内)	震度 6 弱 54.6km <sup>2</sup> (89%) 震度 5 強 6.8km <sup>2</sup> (11%)	震度 6 強 42.6km <sup>2</sup> (69%) 震度 6 弱 13.8km <sup>2</sup> (23%) 震度 5 強 5.0km <sup>2</sup> (8%)
津波	市内に浸水の可能性はない	
全壊・焼失棟数	市内約 200 棟	市内約 2,700 棟
死者数	市内 5 人未満	市内約 20 人

### 【三島市の地震による最大の被害】

人間	立ってられず、這わないと動くことができない。
屋内状況	固定していない重たい家具はほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。
屋外状況	多くの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。